

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	酸性雨等の大気汚染状況に関する調査事業	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	湿性大気汚染状況を常時監視する。
------------------------	------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全降雨(湿性大気汚染状況)	対象とした数	1,275	mm
		実際に 利用した数	1,254	mm

活動の内容 (何を したか)	東所沢大気汚染常時監視測定局において、酸性雨自動測定器を設置し、pH(水素イオン濃度)・EC(導電率)の調査を実施している。								
	①酸性雨自動測定器の整備・点検 ②降雨中pH・ECの測定 ③測定データの収録及び点検(埼玉県酸性雨モニタリングネットワークへの連絡) ④全降雨中の陽イオン・陰イオン分析(埼玉県環境科学国際センターに依頼)								
活動実績	項目名	有効測定降雨	1254	項目名		項目名		項目名	
			単位 mm				単位		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	409	468	2,065	6.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	測定実施率	有効測定降雨/全降雨×100	100	98.4	98.4
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	酸性雨等の大気汚染状況に関する調査事業	環境	環境	環境	環境	環境
050204		グループ	青空再生			
開始年度	昭和 50 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			大気汚染防止法
	関連・類似事業	大気汚染状況の常時監視事業			
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全
		中柱	1 大気環境の保全	小柱	(2)大気環境の監視測定体制の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ***		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード	
	事業開始の背景	昭和49年に酸性雨によると思われる健康被害が北関東を中心に広範囲で発生し、これを契機に、本市においても昭和50年から初期降雨のpH測定を開始し、その後陸水、土壌・植生等に対する長期的影響の観点から、平成元年より全降雨のpH・EC測定を開始している。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	湿性大気汚染状況を常時監視する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	全降雨(湿性大気汚染状況)		利用数の考え方 有効測定降雨		
	対象数	単位	平成 18 年度	1,739	mm	
			平成 19 年度	1,275	mm	
			平成 18 年度	1,735	mm	
		平成 19 年度	1,254	mm		
	事業の具体的な内容及び実施方法	東所沢大気汚染常時監視測定局において、酸性雨自動測定器を設置し、pH(水素イオン濃度)・EC(導電率)の調査を実施している。				
	①酸性雨自動測定器の整備・点検					
	②降雨中pH・ECの測定					
	③測定データの収録及び点検(埼玉県酸性雨モニタリングネットワークへの連絡)					
	④全降雨中の陽イオン・陰イオン分析(埼玉県環境科学国際センターに依頼)					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点	得られた観測データの有効利用及び情報公開を進めるため、「ところざわ環境データブック2007」を作成し、市民・関係機関等に配布するとともにホームページへの掲載を行った。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		406	409	410
	決算(見込み含む)		448	468	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )
	正規職員人件費	0.18 人	1,656	0.17 人	1,597
	公債費				
	事業費合計		2,104	2,065	
	財源内訳	一般財源	2,104	2,065	410
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	6.2	6.1		
	利用数一単位あたり(単位:円)	1,212.7	1,646.7		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	有効測定降雨	mm	1735	1254		
	成果分析	測定実施率	%	100	100	100	100
		有効測定降雨/全降雨×100		実績	99.8	98.4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2   1
			%	達成率	99.8	98.4	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	県内市町で構成する「埼玉県酸性雨モニタリングネットワーク」により広域的な取組みが推進され、より効果的にデータが活用できた。今後埼玉県酸性雨モニタリングネットワーク構成市町との連絡を密にするなど、引き続き酸性雨による健康被害等の未然防止に努めていく。	
	測定実施率	98%	平成21年3月末
平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由	成果指標である調査実施率が良好な状況にあること、また本市大気環境の保全及び改善に不可欠な基礎調査であるため。なお、予算については、引き続き本事業の効率的・効果的運用を図るが、当該事業に係る経費の殆どが計測機器の保守費等であるため、現状どおりとする。		
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価理由						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
	評価理由	評価理由						
	評価日	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	332
	施策の体系	3-3その他の地球環境保全	施策の方向	3-3-2酸性雨対策
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				